

## 2024年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年3月5日

上場会社名 エイケン工業株式会社 上場取引所 東  
コード番号 7265 URL <https://www.eiken-kk.co.jp>  
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 早馬 義光  
問合せ先責任者（役職名） 取締役総務部長（氏名） 櫻井 英司（TEL）0537-86-3105  
四半期報告書提出予定日 2024年3月14日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

## 1. 2024年10月期第1四半期の業績（2023年11月1日～2024年1月31日）

## （1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年10月期第1四半期	1,743	△0.2	56	330.8	62	206.0	45	42.7
2023年10月期第1四半期	1,747	5.0	13	△86.9	20	△81.0	31	△58.9

  

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年10月期第1四半期	44.71	—
2023年10月期第1四半期	31.50	—

## （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年10月期第1四半期	7,171	5,638	78.6
2023年10月期	7,078	5,692	80.4

（参考）自己資本 2024年10月期第1四半期 5,638百万円 2023年10月期 5,692百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年10月期	—	0.00	—	110.00	110.00
2024年10月期	—	—	—	—	—
2024年10月期（予想）	—	0.00	—	110.00	110.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年10月期の業績予想（2023年11月1日～2024年10月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	3,689	2.2	129	88.2	138	62.6	96	25.0	95.22
通期	7,354	8.2	260	124.0	280	90.1	195	44.7	193.29

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年10月期 1 Q	1,240,000株	2023年10月期	1,240,000株
---------------	------------	-----------	------------

② 期末自己株式数

2024年10月期 1 Q	226,255株	2023年10月期	226,255株
---------------	----------	-----------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年10月期 1 Q	1,013,745株	2023年10月期 1 Q	1,008,443株
---------------	------------	---------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境が改善する等、景気は緩やかな回復傾向が続いております。しかしながら、世界的な金融引締めや中国経済の先行き不安に伴う海外の景気下振れ、円安基調による資源・原材料価格高騰に伴う物価上昇及びロシア・ウクライナ情勢に続き中東地域をめぐる情勢不安の発生による地政学リスク等により、景気の先行きは不透明な状況で推移しております。

こうした状況のなかで、フィルター部門の国内におきましては、自動車用フィルター業界は、自動車メーカーの生産ライン、カーディーラーに供給するフィルターメーカー（以下、純正メーカー）とカーショップ、ガソリンスタンド及び整備工場等に供給するフィルターメーカー（以下、市販メーカー）に大きく2つに分かれます。純正メーカーは、取引先の自動車メーカー、カーディーラー以外にも他の自動車メーカーのフィルターを品揃えして、補修用として市販メーカーの納入先にも販売しております。よって、自動車用フィルター市場は、純正メーカー、市販メーカーが入り混じって激しい競争を繰り広げており、特に価格の面では、新興国で製造された安価な商品が増加し、激しい価格競争にも晒されております。輸出におきましては、当社ブランド「VIC」を約40年間、海外の日本車向けに販売しておりますが、日本のフィルターメーカー、海外のフィルターメーカーと品質、価格等で激しい競争を展開しております。さらに、燃焼機器部門におきましては、プレス加工技術を活かし、1976年から風呂釜用バーナを製造するようになり、現在は、厨房機器メーカー、ボイラメーカー及びコインランドリーメーカー等にガスバーナ、熱交換器等を販売しております。

当社は、新規取引先の開拓並びに既存取引先への訪問活動を継続しつつ、電話、メール及びWEB会議システム等も積極的に活用することで、取引先との接点を可能な限り多くすることにより、次のような営業活動を継続してまいりました。フィルター部門において国内では、付加価値の高い大型車用フィルター、既存品と差別化した高性能オイルフィルター及びプレス部品の拡販に注力すると共に、既存取引先との取引拡大に取り組んでまいりました。輸出では、主要輸出先への新製品の提案等の営業活動を強化してまいりました。燃焼機器部門では、取引先から依頼を受けたバーナの開発、既存のバーナ部品及び熱交換器の拡販に取り組んでまいりました。

その結果、売上高は前年同四半期に比べ4百万円減少し、17億43百万円（前年同四半期比0.2%減）、売上高は減少したものの、生産数の減少に伴い材料費が減少したこと等により売上原価が減少したことが要因となり、営業利益は前年同四半期に比べ43百万円増加し、56百万円（前年同四半期比330.8%増）、営業利益が増加したことが要因となり、経常利益は前年同四半期に比べ42百万円増加し、62百万円（前年同四半期比206.0%増）、四半期純利益は前年同四半期に比べ13百万円増加し、45百万円（前年同四半期比42.7%増）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次の通りであります。

(フィルター部門)

売上高に関しては、輸出売上が減少したものの、国内売上が増加したことにより増加しました。輸出売上が減少した要因は、アジア向け及び中近東向けが増加したものの、ヨーロッパ向けが減少したことによるものです。国内売上が増加した要因は、同業者向けが増加したことによるものです。営業利益に関しては、売上高が増加したこと、生産数の減少に伴い材料費が減少したこと等により売上原価が減少したことが要因となり増加しました。

その結果、売上高は前年同四半期に比べ5百万円増加し、16億67百万円（前年同四半期比0.3%増）、営業利益は前年同四半期に比べ56百万円増加し、1億46百万円（前年同四半期比62.4%増）となりました。

(燃焼機器部門)

売上高に関しては、厨房機器用バーナ及びコインランドリー向けバーナの売上高が減少しました。営業利益に関しては、売上高が減少したこと及び売上高の減少に伴い生産量が減少したことにより生産効率が低下したこと等が要因となり減少しました。

その結果、売上高は前年同四半期に比べ9百万円減少し、75百万円（前年同四半期比11.1%減）、営業損失は6,509千円（前年同四半期は営業利益718千円）となりました。

(その他)

灰皿等の販売をしております。

売上高は前年同四半期に比べ80千円増加し、386千円（前年同四半期比26.5%増）、営業損失は棚卸資産の減少等による売上原価の増加により1,893千円（前年同四半期は営業損失305千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前事業年度末と比べて65百万円減少し、43億26百万円(前事業年度末比1.5%減)となりました。主な要因は、受注が増加したことによる出荷対応等のため、商品及び製品が41百万円増加したものの、投資有価証券の購入等により現金及び預金が69百万円減少したこと及び売掛金の回収金額が増加したこと等により売上債権が36百万円減少したことによるものです。

固定資産は、前事業年度末と比べて1億57百万円増加し、28億44百万円(前事業年度末比5.8%増)となりました。主な要因は、投資有価証券の購入等により投資有価証券が1億62百万円増加したことによるものです。

この結果、総資産は、前事業年度末と比べて92百万円増加し、71億71百万円(前事業年度末比1.3%増)となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末と比べて1億57百万円増加し、12億57百万円(前事業年度末比14.3%増)となりました。主な要因は、仕入が増加したこと等により支払手形及び買掛金が25百万円、前事業年度末と比べて支払うべき法人税等が増加したことにより未払法人税等が37百万円、当第1四半期累計期間は賞与の支給がなかったことにより賞与引当金が66百万円、それぞれ増加したことによるものです。

固定負債は、前事業年度末と比べて11百万円減少し、2億74百万円(前事業年度末比4.1%減)となりました。主な要因は、退職給付引当金が10百万円減少したことによるものです。

この結果、負債合計は、前事業年度末と比べて1億45百万円増加し、15億32百万円(前事業年度末比10.5%増)となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末と比べて53百万円減少し、56億38百万円(前事業年度末比0.9%減)となりました。主な要因は、四半期純利益の計上により利益剰余金が45百万円増加したものの、配当金の支払いにより利益剰余金が1億11百万円減少したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年10月期の業績予想に関する事項につきましては、2023年12月7日に公表いたしました数値から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年10月31日)	当第1四半期会計期間 (2024年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,430,354	1,360,942
受取手形及び売掛金	1,124,376	1,062,705
電子記録債権	680,512	705,495
商品及び製品	757,587	799,378
仕掛品	64,925	69,470
原材料及び貯蔵品	271,718	291,282
その他	63,594	38,658
貸倒引当金	△1,824	△1,776
流動資産合計	4,391,243	4,326,156
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	956,930	946,811
機械及び装置（純額）	501,403	513,808
その他（純額）	644,583	621,298
有形固定資産合計	2,102,917	2,081,919
無形固定資産	17,958	16,684
投資その他の資産		
繰延税金資産	42,045	57,732
その他	525,834	689,603
貸倒引当金	△1,026	△1,028
投資その他の資産合計	566,854	746,307
固定資産合計	2,687,730	2,844,912
資産合計	7,078,974	7,171,068

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年10月31日)	当第1四半期会計期間 (2024年1月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	372,572	397,973
電子記録債務	—	19,250
短期借入金	460,000	460,000
未払法人税等	10,123	47,800
賞与引当金	36,989	103,714
その他	220,356	228,805
流動負債合計	1,100,041	1,257,543
固定負債		
退職給付引当金	235,538	225,530
役員退職慰労引当金	2,530	1,855
資産除去債務	10,173	10,173
その他	38,319	37,226
固定負債合計	286,561	274,785
負債合計	1,386,603	1,532,329
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	601,800	601,800
資本剰余金	399,685	399,685
利益剰余金	5,110,043	5,043,862
自己株式	△509,828	△509,828
株主資本合計	5,601,699	5,535,519
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	90,670	103,220
評価・換算差額等合計	90,670	103,220
純資産合計	5,692,370	5,638,739
負債純資産合計	7,078,974	7,171,068

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年1月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年1月31日)
売上高	1,747,275	1,743,236
売上原価	1,554,710	1,500,233
売上総利益	192,564	243,003
販売費及び一般管理費	179,356	186,097
営業利益	13,208	56,905
営業外収益		
受取利息	528	198
受取配当金	2,859	2,593
投資有価証券評価益	635	—
受取賃貸料	3,391	3,394
その他	1,209	1,271
営業外収益合計	8,624	7,456
営業外費用		
支払利息	484	480
投資有価証券評価損	215	200
その他	652	1,009
営業外費用合計	1,352	1,689
経常利益	20,481	62,673
特別利益		
固定資産売却益	39	79
投資有価証券売却益	28,186	—
保険解約返戻金	—	2,376
特別利益合計	28,225	2,456
特別損失		
固定資産除却損	3,192	85
保険解約損	—	807
特別損失合計	3,192	893
税引前四半期純利益	45,514	64,236
法人税、住民税及び事業税	41,588	39,991
法人税等調整額	△27,840	△21,086
法人税等合計	13,748	18,905
四半期純利益	31,766	45,331



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期累計期間(自 2023年11月1日 至 2024年1月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期累計期間(自 2023年11月1日 至 2024年1月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第1四半期累計期間(自 2023年11月1日 至 2024年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 損益計算書 計上額 (注3)
	フィルター 部門	燃焼機器 部門	計				
売上高							
日本	848,246	75,502	923,749	386	924,136	—	924,136
海外	819,100	—	819,100	—	819,100	—	819,100
顧客との契約 から生じる収益	1,667,347	75,502	1,742,850	386	1,743,236	—	1,743,236
外部顧客への 売上高	1,667,347	75,502	1,742,850	386	1,743,236	—	1,743,236
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,667,347	75,502	1,742,850	386	1,743,236	—	1,743,236
セグメント利益 又は損失(△)	146,920	△ 6,509	140,411	△ 1,893	138,517	△81,611	56,905

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2 セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に総務部等管理部門の一般管理費等であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

以 上